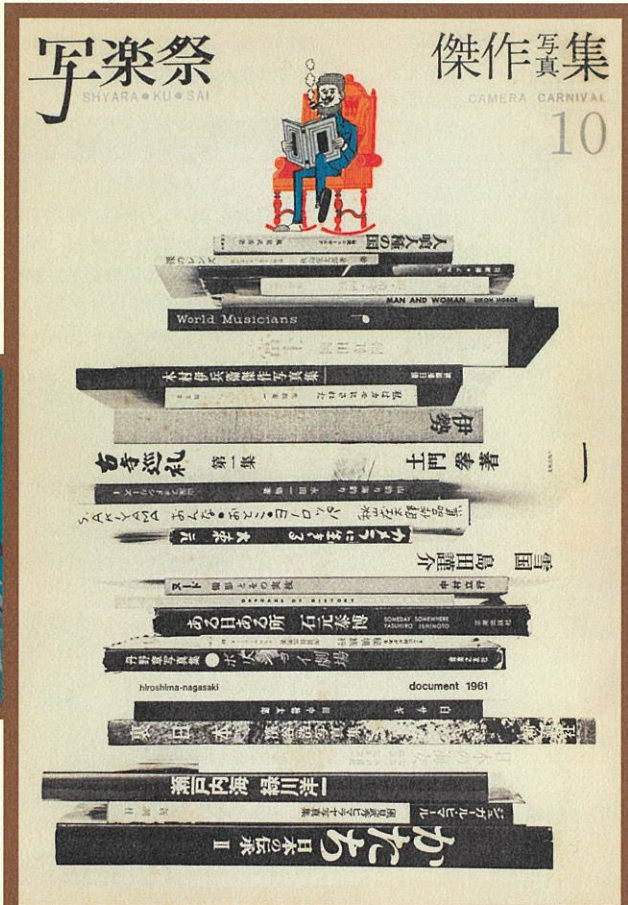
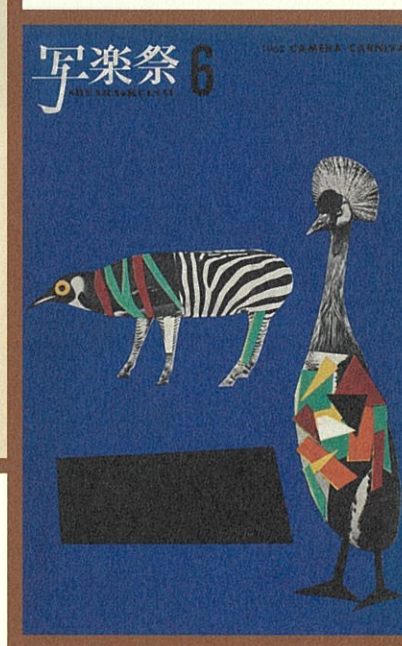
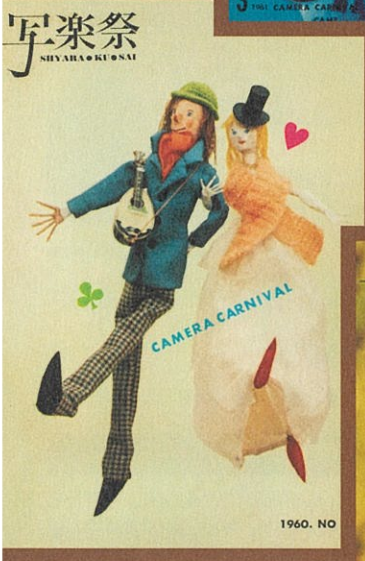


富士フィルムグループ 創立 90 周年記念 企画展

写楽祭!

SHYARAKUSAI

[日本の写真集 1950~70年代]



写真集の
写真展

2024.10.18[金]—11.7[木]

富士フィルムフォトサロン 東京

10:00-19:00 (最終日は14:00まで、入館は終了10分前まで)

入館無料・会期中無休

主催：富士フィルム株式会社 監修：飯沢耕太郎 協力：写真集食堂めくたま
企画：コンタクト 後援：港区教育委員会

FUJIFILM SQUARE

写楽祭!

SHYARAKUSAI

[日本の写真集 1950~70年代]

写真集の写真展

- 秋山庄太郎
- 浅井慎平
- 石内都
- 石元泰博
- 岩宮武二
- 大竹省二
- 岡田紅陽
- 川田喜久治
- 木村伊兵衛
- 小島一郎
- 牛鵬茂雄
- 沢渡朔
- 島田謹介
- 鈴木清
- 田淵行男
- 丹野章
- 東松照明
- 常盤とよ子
- 土門拳
- 中村立行
- 中村由信
- 奈良原一高
- 芳賀日出男
- 濱谷浩
- 深瀬昌久
- 細江英公
- 緑川洋一
- 森山大道
- 山沢栄子
- 山端庸介
- 渡辺眸
- 渡辺義雄

(出展写真家・五十音順)

フジフィルム スクエアでは、富士フィルムグループ創立90周年を記念して、日本近代写真史の豊穰期とも言える1950~70年代に焦点をあて、この時代の代表的な写真集32冊と各作家の写真作品を一堂に展示する「写楽祭—日本の写真集 1950~70年代」を開催します。

写真評論家・飯沢耕太郎氏の監修による本企画展は、プリント表現の多様性を直接感じられる「写真展」と、時代を超えて作品を広く伝え続ける「写真集」が対をなし、写真文化の振興に果たしてきた重要な役割を、以下の2部構成で改めて実感していただける展示です。

第1部 写楽祭傑作写真集

本企画展の第1部では、高度経済成長下のカメラブームを背景に、富士写真フィルム株式会社(当時)が1960年代に刊行していた有料PR誌『写楽祭』に改めて着目。創立30周年にあたる1964年3月に、その記念として「写楽祭傑作写真集」というタイトルで発行された第10号で取り上げられた32冊の写真集から、15冊を精選、実際の写真集と各作家の写真作品を併せて展示します(『写楽祭』第1号~第10号も展示)。

第2部 写真集の時代 1950~70年代

戦前から、日本の写真家にとって重要な作品発表の舞台は、カメラ雑誌や写真集などの印刷媒体でした。戦後、多くの写真家が自らの表現を伝える手段として写真集制作に注力する機運の中で、デザインや優れた印刷技術など各時代の才能が出会うことにより、世界でも稀有な写真集文化が生まれることになりました。

第2部では、『写楽祭』には掲載されていないながら同時代を語る上で欠かせない、厳選した17冊の写真集を第1部同様に各作家の写真作品とともに紹介します。



緑川洋一「瀬戸内海・島と灯台」1962年頃



石内都「絶唱・横須賀ストーリー」1977年



牛鵬茂雄「SELF & OTHERS」より 1977年



木村伊兵衛「秋田おばこ 秋田・大曲」1953年



森山大道「三沢の犬」1971年



奈良原一高「二つのゴミ缶、ニューメキシコ」(「消滅した時間」)より 1972年



『写楽祭』第10号 表紙

1960年代に刊行されたPR誌『写楽祭』について

ユーモアと遊び心で彩られたレイアウトと斬新なデザインにより、今日でも写真を撮る高揚感や楽しさを新鮮に伝えてくれます。特に、第10巻は木村伊兵衛、土門拳といった戦後の写真界を代表する巨匠たちの写真集はもちろん、現在では語られる機会の少ない写真家たちの作品も含まれており、当時の写真史を読み直す上でも大変興味深い特集号になっています。

写真展併催イベント

①「写楽祭」開催記念イベント

日時: 11月3日(日・祝) 13:30~15:00 (受付 13:00~)

会場: フジフィルム スクエア 2F 特設会場 (座席あり) ※

(フジフィルム スクエアよりご入場ください。)

※ 座席は自由で、当日受付順に会場にご入場いただけます。

お話し: 写真評論家 飯沢 耕太郎 氏

聞き手: コンタクト 佐藤 正子 氏

参加費: 無料

予約: 要申込、ウェブサイト、電話にて(10月1日(火)10時より受付開始予定、

詳細は9月中旬頃フジフィルム スクエアウェブサイトに掲載予定。)

②キャラリートーク

10月19日(土)・26日(土) 各日13:00から・約30分間

お話し: 写真評論家 飯沢 耕太郎 氏

聞き手: コンタクト 佐藤 正子 氏

参加費: 無料

予約: 不要

※ 写真展会場内で実施、座席はございません。予めご了承ください。

FUJIFILM
Value from Innovation

90
そして
その先の
未来へ
100

フジフィルムスクエア

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

TEL.03.(6271)3350 電話受付時間 [10:00~18:00]

<https://fujifilmsquare.jp/>



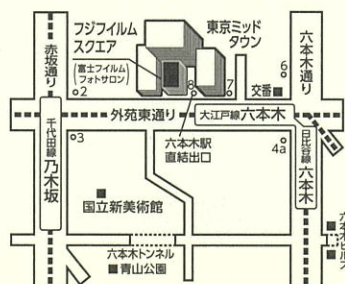
※ 祝花は固くお断り申し上げます。

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。

ウェブサイト・電話でご確認ください。



THIS IS MECENAT 2024 富士フィルムフォトサロンは、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2024」の認定を受けております。



都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩4分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分

写楽祭!

SHYARAKUSAI

[日本の写真集 1950~70年代]

写真集の写真展



2024.10.18[金]—11.7[木]

富士フイルムフォトサロン 東京 入館無料・会期中無休
10:00-19:00 (最終日は14:00まで、入館は終了10分前まで)
入館無料・会期中無休

FUJIFILM SQUARE

写真集の写真展

写楽祭!

SHYARAKUSAI

[日本の写真集 1950~70年代]

秋山庄太郎 浅井慎平 石内都 石元泰博 岩宮武二 大竹省二 岡田紅陽 川田喜久治
木村伊兵衛 小島一郎 牛嶋茂雄 沢渡朔 島田謹介 鈴木清 田瀬行男 丹野章 東松照明 常盤とよ子
土門拳 中村立行 中村由信 奈良原一高 芳賀日出男 濱谷浩 深瀬昌久 細江英公 緑川洋一
森山大道 山沢栄子 山端庸介 渡辺眸 渡辺義雄 (出展写真集・五十首順)

2024.10.18[金]—11.7[木]

富士フイルムフォトサロン 東京 入館無料・会期中無休
10:00-19:00 (最終日は14:00まで、入館は終了10分前まで)
主催：富士フイルム株式会社 監修：飯沢耕太郎 協力：写真集食堂めぐたま 企画：コンタクト 後援：港区教育委員会

写真展併催イベント

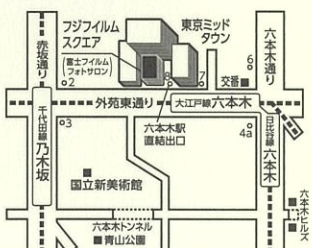
- ①「写楽祭」開催記念イベント
日時：11月3日(日・祝) 13:30~15:00 (受付13:00~)
会場：フジフイルム スクエア 2F 特設会場 (座席あり)※
(フジフイルム スクエアよりご入場ください。)
※座席は自由で、当日受付順に会場にご入場いただけます。
お話し：写真評論家 飯沢 耕太郎 氏
聞き手：コンタクト 佐藤 正子 氏
参加費：無料
予約：要申込、ウェブサイト、電話にて(10月1日(火)10時より受付開始予定、詳細は9月中旬頃フジフイルム スクエアウェブサイトに掲載予定。)
- ②ギャラリートーク
日時：10月19日(土)・26日(土) 各日13:00から・約30分間
お話し：写真評論家 飯沢 耕太郎 氏
聞き手：コンタクト 佐藤 正子 氏
参加費：無料
予約：不要
※写真展会場内で実施、座席はございません。予めご了承ください。

FUJIFILM Value from Innovation

90th 100th

フジフイルムスクエア

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
TEL.03(6271)3350 電話受付時間 [10:00~18:00]
<https://fujifilmsquare.jp/>



※ 祝花は固くお断り申し上げます。
※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。
ウェブサイト・電話でご確認ください。

THIS IS MECEMAT 富士フイルムフォトサロンは、2024年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECEMAT 2024」の認定を受けております。

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京メトロ日比谷線「六本木駅」地下通路より徒歩4分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分